

# 第 119 回創薬科学セミナー／GTR セミナー

先端薬科学特論認定

森島 美絵子 先生

生理学研究所・大脳神経回路論 助教

大脳皮質における興奮－抑制神経回路と patch-seq の融合について

2020年2月18日（火）16:00～17:00

創薬科学研究館 2 階講義室（205）

大脳皮質は情動、運動、感覚等の様々な高次活動に関わり、それぞれの高次機能に対応した情報ネットワーク神経回路網を介して作られている。この神経回路網はランダムでなく神経細胞間で選択的に、シナプスを介した情報伝達が行われている。神経回路の構成要素である神経細胞は80%の興奮性細胞と20%が抑制性細胞からなっており、それぞれがさらにサブタイプに分かれている。これらの神経細胞間の情報伝達の仕組みを中心に紹介し、さらに最近になって開発された patch-seq を組み合わせた神経回路解析の展望についても議論したい。



連絡先: 創薬科学研究科 加藤竜司 (kato-r@ps.nagoya-u.ac.jp)

